

フィリピンは7つの「F」 ～「Travel Tour Expo 2017」に参加～

シンガポール事務所

クリアシンガポール事務所は、フィリピン旅行業協会が主催する「Travel Tour Expo 2017」に参加し、日本政府観光局(以下 JNTO)バンコク事務所と連携して訪日観光 PR を実施しました。

今年で24回目を迎える「Travel Tour Expo 2017」はフィリピン最大級の旅行博です。日本から初参加した東京都観光財団や栃木県日光市を始め、大阪観光局など20団体がフィリピンの来場者に日本の観光 PR を行い、併せて現地旅行事業者が訪日旅行商品を販売しました。

1 フィリピンの訪日旅行客の概要

国民の平均年齢が23歳と非常に若く日本アニメで育ってきた現代の20～30代のフィリピン人にとって、日本は最大の夢の国です。

特に子供が多く家族で楽しめるディズニーランドや USJ 等のテーマパークへの興味が強く、質問も集中しました。



JNTO のブースの様子

2 フィリピン市場は7つの「F」

フィリピンマインドを表す言葉として7つの「F」があるとされています。その「F」とは、「Family (家族)」「Faith(信仰)」「Friendly(友好的)」「Face(面子)」「Food (食事)」「Forget & Forgive (水にながす)」。この7つの「F」を念頭に置きながら PR するとフィリピン人の心をわしづかみにすることができます。



渋谷の交差点の背景写真

3 SNSで自慢！

フィリピンでは、Facebook やインスタグラム等を使った情報発信が活発です。ブースに来場したお客様の中には、「Facebook に更新するため旅行や新しい場所に行き、その写真を友達に自慢する！」と楽しそうに話してくれました。家族友人が世界に広がっているフィリピン人にとって、簡単に、そして確実に世界中の相手に伝えたいことが伝わる情報発信ツ

ールは、絆を深める大切なコミュニケーションとなっているのです。そのため、日本的な風景やわかりやすいアイコン、美しい風景などは絶好のフォトスポットとして人気なのです。

4 環境に配慮

フィリピンではごみの焼却が禁止されているため、自然分解されないビニール袋がたまり、その結果、排水路が詰まりそれが洪水の原因となるため、首都圏（マカティ市）などでは、プラスチックのレジ袋が条例により禁止されています。そのため、旅行博においてもエコバックや紙袋が活用されていました。



JNTO エコバック

各国の事情にもよりますが、エコバック等、フィリピンの実生活で活用できるものを観光PRチラシと共に配布することで、より手に取っていただけるのではないかと感じました。

当事務所では、引き続き ASEAN 諸国の訪日旅行市場最新情報を収集し、関係機関とも連携しながら地域の魅力を発信していきます。

4 Travel Tour Expo 2017について

概要	フィリピン旅行業協会（PTAA: Philippine Travel Agencies Association）が主催するフィリピン最大規模の国際旅行博覧会。
開催期間	2017年2月10日（金）～2月12日（日） 10:00～21:00 ※12日は～19:00
開催場所	フィリピン・マニラ首都圏 SMX Convention Center
対象	一般消費者
入場料	60 ペソ
出展団体数	ジャパン・パビリオン共同出展団体20団体（全出展団体約330団体）

※ Travel Tour Expo はフィリピン旅行業協会主催で年に1回（2月頃）マニラ首都圏主要コンベンションセンターにて実施します。今後の予定など詳細については、JNTO 日本語サイト（<http://www.jnto.go.jp/jpn/>）の下部にあるイベントスケジュールを随時御確認ください。

（堀江所長補佐 栃木県小山市派遣）